

第2次習志野市水道事業経営戦略 令和6年度末 進捗状況評価表（令和6年4月～令和7年3月）

I. 評価方法

類型	施策の形態	評価方法
I	実績数値により進捗状況を評価する項目	A:達成率100%以上 B:達成率75%～99% C:達成率50%～74% D:達成率25%～49% E:達成率24%以下
II	施策進捗状況により進捗状況を評価する項目	A:計画どおり進捗している B:概ね進捗している C:着手段階 D:検討段階 E:未着手

2. 主要施策の進捗状況評価

	施策番号	経営戦略 ページ数	施策名	所管課	取組内容	類型	目標値/実績値/評価 ※目標値を設定していない施策は令和6年度の取組を記載
(1) 安全な水道水の供給							
(1)①	P26		水源の確保	ガス水道供給課	北千葉広域水道企業団からの受水量を維持するとともに老朽化している井戸の統廃合および計画的な更新を図ります。 また、更新工事の工法について、既存井戸用地内で掘削できるドーナツドリル工法の採用などを検討します。さらに、導水管整備費などの付随する投資費用も含め、費用対効果を検討して、最適な内容で実施します。	I	<北千葉広域水道企業団からの受水量（m3/日）> 目標値:18300m3/h 実績値:18300m3/h 評 価:A
(1)②	P28		水質検査体制の充実	ガス水道供給課	今後も確実な水質検査を実施するとともに、研修などによる検査職員の育成にも計画的に取り組み、水道水の安全性を確保します。 水質基準については、今後も国の動向を注視し、水質検査計画を策定します。	II	評 価:A <令和6年度の取組> 水道法で定められた水質基準項目などを、習志野市水道水質検査計画に基づいた検査場所、検査方法により、水道水の安全性を確認しました。 【検査結果 検査件数:145件、異常検知件数0件】
(1)③	P30		水道管の洗浄作業	ガス水道保安課	より効果的に水道管洗浄作業を実施できるよう施設情報や濁り水発生履歴を整理するとともに、水道管洗浄の専門業者への委託など民間ノウハウ・技術を活用した手法により濁り水の抑制を図ります。	I	<濁り水発生件数（件）> 目標値:74件 実績値:65件 評 価:A
(1)④	P32		貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進	ガス水道保安課	新規の3階建て以上の建物に係る貯水槽設置を予定しているお客さまに対し、直結給水の条件を満たしている場合は、直結直圧式・直結増圧式を案内し、直結給水の適用を促進していきます。 また、所有者や管理者の所在が不明な貯水槽についても引き続き不動産登記や現地調査等に取り組むとともに、貯水槽のお客さまに対し、適切な維持管理の必要性についてチラシによる周知やホームページおよび広報紙による周知を継続して行います。	I	<3階以上の建物における直結・直圧件数（件）> 目標値:498件 実績値:515件 評 価:A
(1)⑤	P34		施設の計画的な更新・維持管理	ガス水道供給課	安定供給を確保し続けるため、「習志野市企業局ガス・水道長期整備方針」に基づき、逐次、施設の状況を確認しながら、計画的に施設の更新・維持管理を実施していきます。また、更新にあたり、水需要動向を考慮し、水道施設の統廃合を進めます。 経営戦略期間における具体取組として、 ・第3給水場の廃止 ・第2給水場浄水施設更新（第1給水場浄水施設は廃止する方針） ・第2給水場南側無停電電源装置更新 を実施します。	II	<第3給水場廃止> 目標値:廃止に係る第1給水場の一部改造工事 実績値:廃止に係る第1給水場の一部改造工事 評 価:A
						II	<第2給水場浄水施設更新> 目標値:- 実績値:- 評 価:-
						II	<第2給水場南側無停電電源装置更新> 目標値:工事 実績値:工事 評 価:A

第2次習志野市水道事業経営戦略 令和6年度末 進捗状況評価表（令和6年4月～令和7年3月）

I. 評価方法

類型	施策の形態	評価方法
I	実績数値により進捗状況进行评估する項目	A:達成率100%以上 B:達成率75%～99% C:達成率50%～74% D:達成率25%～49% E:達成率24%以下
II	施策進捗状況により進捗状況进行评估する項目	A:計画どおり進捗している B:概ね進捗している C:着手段階 D:検討段階 E:未着手

2. 主要施策の進捗状況評価

	施策番号	経営戦略 ページ数	施策名	所管課	取組内容	類型	目標値/実績値/評価 ※目標値を設定していない施策は令和6年度の取組を記載
(2) 持続可能な経営							
(2)①	P37		定員管理適正化	企業総務課 公営企画課	必要な人材の確保を図るべく、積極的な人員募集などに努めるとともに、令和4(2022)年度から公開している“習志野市企業局魅力発信動画”を活用したPR活動を推進します。 また、今後見込まれる施設更新など専門性が高い業務に対応するべく、技術職員の採用に取り組みます。	I	<職員数(人)> 目標値:30人 実績値:30人 評 価:A
(2)②	P39		人材育成と技術継承	工務管理課	人材育成ビジョンに基づき、必要な技術系研修等の調整管理を行い、各部署に必要な人材の育成を推進します。 また、OJTについても、今まで実施してきた研修に加え、他課の業務に携わって多角的な経験を積むワークトライアル研修や災害時の復旧作業に関わる実技研修を実施し、技術レベルの向上を図ります。	I	<技術系資格保有度数(件/人)> 目標値:2.6件/人 実績値:2.4件/人 評 価:B
(2)③	P41		料金の支払方法の多様化	営業料金課	新たな支払方法としてクレジットカード払い等の導入の検討を行い、支払方法の多様化に取り組みます。 また、キャッシュレス決済に関する情報発信を積極的に行い、現状納付書払いを選択されているお客さまに対し、キャッシュレス決済の選択肢を拡大し利便性の向上を図ります。 なお、オンライン納入通知書等の新たな取組についても今後検討します。	II	<クレジットカード払いの導入> 目標値:検討 実績値:検討 評 価:A
(2)④	P43		地域福祉への貢献	営業料金課	関係部署などとの連携や広報紙による周知を実施するなど、引き続き効果的な周知を図っていきます。	II	評 価:A <令和6年度の取組> 市のホームページや広報あじさいでのPRに加え、イベントでのチラシ配布を行い、サービスの利用促進に努めました。また、利用者にアンケートを行い、利用状況を調査しました。 【令和7年3月末時点の利用者数:1名(3事業全体:5名) 令和6年度新規利用開始:1名(3事業全体:2名)】
(2)⑤	P44		ICTを活用したお客さまの利便性の向上	営業料金課	現在、電話や書面での対応となっている開閉栓の受付や口座振替の申込みといった手続きにおいて、オンラインでの受付を検討します。 また、紙で発行・投函している検針票については、料金や使用量等の情報がお客さまにて取得できるオンラインサービスを検討します。	II	<開閉栓オンライン受付> 目標値:実施 実績値:実施 評 価:A
						II	<検針票オンラインサービス> 目標値:検討 実績値:一部検討 評 価:B
(2)⑥	P46		様々な媒体を活用した広報活動の実施	企業総務課	広報紙の発行やホームページによる情報発信を継続的に実施します。また、SNSや動画を活用した広報活動を実施します。ICTの発達により新たな情報伝達手段が生まれる可能性もあることから、常に最新の情報を収集して新たな広報手法について調査・研究します。	II	評 価:A <令和6年度の取組> 「広報あじさい」の年4回の発行やホームページによる情報発信を定期的に行いました。また、災害や事故等発生時の情報発信方法として緊急情報サービス「ならしの」、市公式X、市公式LINE、市公式YouTubeを活用し迅速に発信し、企業局に対するお客様満足度の向上とともに水道事業者としての信頼の確保に努めました。 また、「広報あじさい」ポスティングサービスの周知のため、令和6年度から不定期で検針票の通信欄にお知らせを掲載しています。 その他、船橋市の需要家向けに、京成バス三山入口バス停前「みんなの掲示板」へのポスティングサービス周知ポスター掲示、三山市民センターへの「広報あじさい」の配架を行っています。
(2)⑦	P47		脱炭素への取組	公営企画課	PPA事業の可能性および実施スキームについて検討します。	II	<PPA導入検討> 目標値:導入検討 実績値:導入検討 評 価:A

第2次習志野市水道事業経営戦略 令和6年度末 進捗状況評価表（令和6年4月～令和7年3月）

I. 評価方法

類型	施策の形態	評価方法
I	実績数値により進捗状況を評価する項目	A:達成率100%以上 B:達成率75%～99% C:達成率50%～74% D:達成率25%～49% E:達成率24%以下
II	施策進捗状況により進捗状況を評価する項目	A:計画どおり進捗している B:概ね進捗している C:着手段階 D:検討段階 E:未着手

2. 主要施策の進捗状況評価

	施策番号	経営戦略 ページ数	施策名	所管課	取組内容	類型	目標値/実績値/評価 ※目標値を設定していない施策は令和6年度の取組を記載
(3) 災害に強く、たくましい水道							
(3)①	P50	水道管の耐震化	ガス水道建設課		基幹管路における耐震適合性のない水道管10,391mについては、令和26（2044）年度までに耐震化が完了するよう更新します。このうち、「習志野市企業局水道本支管長期整備方針」で定める重要給水施設への管路については、令和11（2029）年度までの耐震適合率100%に向け推進します。 また、工事を複数年度にわたって整備を実施することで、事業費の平準化および事業期間の短縮を図り、交通規制などによる社会的影響の低減化に努めていきます。	I	<基幹管路の耐震適合率（%）> 目標値:62% 実績値:62% 評価:A
						I	<重要給水施設管路線の耐震適合率（%）> 目標値:92% 実績値:91% 評価:B
(3)②	P52	水道施設の耐震化	ガス水道供給課		今後も、「習志野市企業局水道施設耐震化方針」および「習志野市企業局ガス・水道施設長期整備方針」に基づき、更なる耐震化を推進します。なお、今後の有収水量の推計を考慮し、水道施設の統廃合を図った上で設備投資を行います。経営戦略期間における取組として、「第2給水場浄水施設」の耐震化を実施します。	II	<第2給水場浄水施設更新> 目標値:- 実績値:- 評価:-
(3)③	P54	災害時対応の強化・関係機関との相互協力	企業総務課 工務管理課		(1)危機管理対策マニュアルについて、BCPや受入計画の整備および定期的な点検や見直しの定着化を図ります。 (2)他事業者との情報共有（連絡担当者会議等）や災害訓練（情報伝達訓練など）に参加し協力・連携の強化を図ります。 (3)習志野市企業局災害対策要綱に基づいた役割（非常体制）での訓練を実施し、部・課を超えた連携協力を図ります。	II	評価:B <令和6年度の取組> 【危機管理マニュアルの定期的な点検・見直しについて】 実情に即した「習志野市企業局災害対策要綱」とするため、前年度に各所属へ点検を依頼し、点検結果に基づき令和6年4月1日付けで改定を行いました。 また、本要綱は年度内に1回程度の点検を実施することとしているため、次年度の改定に向け各所属へ点検を依頼しました。 【災害訓練について】 令和6年10月に企業職員を対象として、地震発生から24時間経過後までの初動対応で自身のとるべき行動や役割を認識することを目的とした防災訓練を実施しました。 また、「災害時における復旧応援に関する覚書」に基づき、令和7年2月に覚書締結事業者との連携強化を図るための災害出動訓練を実施しました。